

學校教育

職業指導の聯絡

職業指導研究會を創立

平、湯本兩職業紹介所提案にかゝる管内小學校の職業指導研究會創立に就いては昨年以來が具体案作成を急いでゐたが昨卅日午前十時より平町會

附議して 會則を作成することに決定した、尙發會は資金の關係で十年度中には困難と見られるが、本に於て四月には發會を見ることになるべく之が組織も郡内一圓に亘る大規模のものとし名稱「石城職業指導研究會」として決定されてゐるが之が實施により石城地方

議事堂に 平、湯本兩職業紹介所長並に管内各學校長參集、紹介所側から提出した總案に就いて 平第一篠山 第二千葉 第三赤津 湯本篠原 植田鈴木(佐仲) 小名西山 四倉菊地 澤渡鈴木(佐四郎)

教育會に 及ぶ影響は頗る甚大な好結果をもたらす學校教育と職業陶冶の歩みよる聯繫は興味を以つて見られてゐる

の各學校長を委員に擧げ原案修正を見たが結局二月中行はれる郡内小學校長會議

郡下の凶作地に

種籾を無償交附

郡内昨年度凶作地の左記町村に對して廿九日種籾無償交附されることに決定した

方部總會は二月二日午前十時から勿來組合樓上に開き本年度事業及び方部役員の改選を行ふ

- 上遠野 入遠野 川部
- 田人組合 豊間 磐崎
- 好間 赤井 永戸組合
- 澤渡組合 神谷 四倉
- 大野 平窪 上小川組合
- 川前

種籾組合總會 石城 動力利用種籾組合の菊

青年學校

授業開始

平町青年學校は年末年始の商店の繁忙期を鑑み教練及學科の授業を休んでゐたが明日からの晝間部をはじめ左記日割で授業開始する

試掘許可

平町の地下

一時間題化した平町の地下探堀願、輿論の反對に逢つた磐城炭礦が一先づ試掘願として保留することとなり此の程左の如く許可された

- △平町、飯野村地下九十
- 八萬六千二百坪磐城炭礦
- △赤井村地下五十四萬坪
- 南中郷村湊龜治氏

卓球選手権は

果して何人?

平第三小學校卓球部主催卓球選手権大會は二月二日午前十時から同校講堂に開かれる筈、出場申込は現在五十組に達して居るが昨年の優勝者平町日東商會員佐藤君が不在なので混戦を豫想されて居る

街頭に立看板

早くも人の眼を引く

比佐派奮進

衆議院議員選挙に第三區から出馬した民政黨公認候補比佐昌平氏の選挙事務所は平町南明民政俱樂部に設け近く文書並に言論戦開始の準備を進めてゐる、尙幹事長は石城民政部會幹事長萩原義雄氏でけふからは平町の街頭に早くも同派の立看板が立ち注目を引いてゐる

四ツ倉海岸

埋立護岸

小林所長検査 四倉町新明地海岸埋立護

海軍志願廿名に

平町で夫々試験を執行

平町十一年度海軍志願兵廿名に對して来る二月七日午後一時より町會議室で豫備検査を行ひ之が通過者に對して二月廿八日三月一日の三日間のうちに學科並に實科の本試験を第三小學校で行ふ

平中央青果市況

- △青物部
- へら菜同 〇・〇〇
- 丸大根同 〇・〇〇
- 牛蒡同 二・五〇
- 甘藷同 〇・〇〇
- ホーレン草一把一・〇〇

平町人事

- △結婚 姻
- △仲間町二三 中柴光泰氏
- (三一) 福井縣坂井郡磯部村字中筋三三ノ六齊藤雪子さん(二〇)
- △鎌田町一〇 猪狩數三氏
- (二七) 高久村字牛轉一二猪狩アサヨさん(二二)

宗正らひた

美味! 芳醇!

山崎合名會社 電話一〇番

皆様の足?

尼子タクシーへも豆タクが入りました 御立關から立關へ 迅速簡便 是非御利用を

- 市内 三〇錢
- 市外 四割引

流線型セダン 大型貸切バス

宮行―直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目

尼子自動車商會

電話六四〇番

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正
れ	る	シ	シ	シ	シ
食	堂	イ	イ	イ	イ
茶	場	酒	場	場	場

平・田町
レストサロン
電話三五二番

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番



解る瓦解の令

(著上原)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(畫)

三六 定次郎射たる

お花は定次郎の指に咬み付き、ひらむところを見て前におちたピストルを取り上げ、バツ、バツと堤の下に駈おりの定次郎は『この女待て』といひつ追ひかける。

お花は櫻の木に身をよせて取り直したピストル、ガケンと引鉄を引いた、アツと言つた定次郎はよろよろとよろめく再び筒をはなれた玉、バツと立つ煙、定次郎はお花をきつと睨んだがもう物いふ事もならず崩れるやうにバツタリ介れてウームと苦悶したが、ブルブルと体に波をうたして息が絶えた。

お花はよろめきながらをれへ進みより
花『兄さん、堪忍してくださいよ、あ何うしたらよからう、あ、ヒュースケンさんの死ぬ時にかたみにくれたこのピストル、その時わたしはこのピストルでお前さんを殺したその人を射つて恨みを晴らしますよと誓つたが、旦那の敵は二世までと言ひかした三島さんどうもアその人を殺すことが出来ませう、敵を討つ爲

にゆつられたこのピストルで、敵をたすけるため現在の兄さんを殺すとは、これは因縁だねえ、兄さんお前一人は殺さないよ、もうこれで三島んには義理も立ち



私しはお前のあとをしりひ冥土に行くから三途の川の川端で死出龍を仕立てさせわたしの行くを待つてゐてください
とお花は櫻の古木をうしろにしてふるふる手にピストルを取り咽喉を射たんとし

堀儀部止に仕へた吉野助と申す者、三島よりの知らせによつて松平新十郎の別宅へ忍び居るを知り、今宵はそれへたづねに参る途中かねて三島より承はつたお花といふ名の許であつたか

た時に飛び来たつた際、お花の右の腕へハツシと當つた、ガラリピストルを落としたりがこの折
○『待て、死ぬは短氣だしばらく待ちなさい』といひつつかつかとそれへ進み寄つた一人の男。
お花はその人を見て
花『お前さんは誰方でございます死なねばならぬものでございませう何卒見のし

花『お三島さんから聞いておまじが吉野様とはあなたでございませうか、しかし血をわけた兄を殺した上は私も生きてはゐられませぬ』
政『さう決心したしたはもつともであるが、聞けば兄弟の縁を切つたこと、さすれば定次郎はその許の兄ではあるまい、よし又兄にもせよ大望の妨げをいたす上は生かしては置かれまい、大義親を滅すと申すこともある、吾々の抱き居る望みはみなこれ國の爲、私慾によつて大事を執行したすではない、それをその許が助けたのである、たとへ人を殺せばとて恥づかしさる行爲と思ふ、兎も角ここで死するは止まれ、三島の許に参つてこの事情を告げ、彼の意見を問ふがよからう』

らく考へてゐたが
花『それではこで死ぬは思ひ止まり、三島さんにこの事を話して身の處置を付けることにいたしませう』
政『それが名策、ついではこの死骸をこに捨ておいては人目にかゝる』
と吉野は定次郎の死体を隅田川に沈めかけた、お花は堤に立つて流れ行くその死体を見て
花『兄さん、さだめし僧い女とわたしを恨むであらうが、約束ごととあきらめて堪忍してください。南無阿彌陀佛々々々々々々』
と念佛をととなへた。吉野政助はピストルを拾ひ上げお花の手を取りこをあとに秋葉のかたはら松平新十郎の別荘に居る三島を訪ひ、今宵の椿事を告げました。三島はこれを聞いて男にてもなしがたきお花の行爲に驚きました。

是非!

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます

三井質店
平・四電六〇六番

耳鼻科専門

大和田醫院
南町三六(電話一七〇番)

専門
産婦人科
花柳病科
入院隨意

井坂醫院
平町田町 電話五五九番

外科 内臓外科
X光線科 院長 安齋 徹

産婦人科 醫學士 黒澤 廣

平町田町

安齋醫院
電話四七五

吸入用酸素純度 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

計量器

体温計
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局
電話四〇番

寫真材料一販賣致シマス